

公表:令和4年4月1日

事業所名:グローアップスタディ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数や年齢(学年)に応じて、活動内容や活動場所(スペース)に配慮している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			福祉専門職の増員を行い、より適切な支援及び療育が実施できた。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			事業所がビルテナントであるため、一部設備(トイレ)のバリアフリー化は困難である。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的に業務改善に関するミーティングを実施、目標を設定・振り返り・改善について、全職員が参加している。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○		開所1年のため、保護者様向けアンケートが未実施である。令和4年7月までに実施を予定している。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			弊所HP上で公開している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		実施できるよう検討予定。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に支援・療育に関する研修会を専門家を招いて実施している。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			HUGシステムの連絡機能・お電話、また送迎時に保護者様と情報交換を行っている。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシート、SM社会性生活能力検査等を使用している。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムについては、全職員が参加するミーティングにて立案している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			全職員が参加するミーティングにて、プログラムの提案・安全に実施可能か?等を検討している。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇時には、課外活動・外部講師を招いた特別プログラムを実施している。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学習支援・SST共に、利用者様の特性に合わせ、個別・集団療育を組み合わせている。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日11:15から全職員でミーティングを実施、申し送り・当日の支援・活動内容・役割分担を確認している。	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			サービス提供後に、その日の支援・活動内容を振り返り、気づいた点・次回注意すべき課題をHUGシステムにて共有している。		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			HUGシステムを利用し、保護者様との連絡帳・活動内容・利用者様の様子・保護者様からの連絡内容等、記録を残している。		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			全職員にて1か月ごとに支援会議を実施、6か月ごとに個別支援計画書に基づき達成度の確認・見直し・計画書の更新を行っている		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			管理者・児発管を中心に、全職員に周知している。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○		相談支援事業所を利用している利用者がほほいないため、担当者会議へ参加する機会なし。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			全利用者様の学校年間行事計画書入手、担任の先生や保護者様と綿密に連絡を取っている。		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				○		該当する利用者様なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				○		該当する利用者様なし。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				○		該当する利用者様なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				発達支援センター主催の研修を受講している。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				○		コロナの影響で、他のお子さんとの交流は難しい状況である。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				○		開催なし。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				保護者様とは、HUGシステムの連絡機能・お電話・送迎時等に、利用者様の状況・課題を共有し、支援の方針等を決定している。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				保護者様との個別相談会の機会を設け、助言・支援を行っている。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約時に、見発管がご説明、保護者様の質問や疑問にお答えしている。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時・お電話・HUGシステムの連絡機能にて、保護者様からのご相談に応じている。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		コロナの影響で、保護者様同士の交流は難しい状況である。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口を設置、ご契約時にご案内し、保護者様からの申し入れには、可及的速やかに具体的なお提案を行っている。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			HUGシステムの連絡機能・月間活動予定表等により、各種お知らせをしている。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			ご契約時にご説明・ご了承いただいている。全職員が個人情報保護に関する誓約書に同意している。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ご利用者様・保護者様のお考えや思いを受容・寄り添えるよう可能な限り努力し、支援を行っている。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		コロナの影響で、地域住民との交流は難しい状況である。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各マニュアルについて、適宜見直し・整備を行っている。職員には定期的に周知している。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に想定される災害について避難訓練を行っている。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会が定期的に職員の啓発活動を行っている。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○		該当する利用者様なし。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		該当する利用者様なし。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			全職員で共有し、再発防止に努めている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。